

研究課題名	CT を活用した法医学診断の補助ツール開発に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科法医学 教授 長尾 正崇
研究期間	許可日 ~ 2028年 3月 31日
対象者	2017年4月から2027年3月の間に、死因究明教育研究センターでCTを撮影された症例および、許可日から2027年3月の間に、広島大学病院で頸部から頭頂部にかけてのCTを撮影された患者さん。
意義・目的	CTを活用した診断補助ツールは臨床分野で盛んに開発されていますが、法医学分野では未だ発展途上です。死因究明教育研究センターのCTデータベースに加え、大学病院のCTデータを用い、損傷・顔貌・年齢等法医学診断にとって重要な情報を推定できるツールの開発を目指します。
方法	本研究は、死因究明教育研究センターのデータ利用については解剖によって得られたデータとCT画像を調査して行います。解剖によって得られたデータから使用する内容は身長、体重、性別です。また、大学病院のデータ利用については診療録（カルテ）情報とCT画像を調査して行います。カルテから使用する内容は身長、体重、性別です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
利用を開始する日	実施許可日以降
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科法医学 教授 長尾 正崇
個人情報の保護について	解剖・CT、診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、カルテ番号などの個人を識別可能な情報を削除し、CT画像と個人情報の紐付けを行った後、個人情報とは無関係の番号を付け、個人を特定できないよう個人情報の加工を行います。個人識別情報と付加番号の対応表は個人情報管理者が厳重に管理し、解析担当者には渡しません。外部への試料情報の提供はありません。データ解析の際には、加工後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会あるいは誌上に公表する際にも、個人を特定できる形では公表しません。
問い合わせ・苦情等の窓口	研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
広島大学大学院医系科学研究科附属死因究明教育研究センター 特任講師 原田 崇弘	また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。
〒734-8551 広島市南区霞1-2-3	Tel : 082-257-5174
広島大学大学院医系科学研究科法医学 教授 長尾 正崇	研究機関：広島大学